



## 平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月10日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東  
 コード番号 7453 URL <https://ryohin-keikaku.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 暁  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員企画室長 (氏名) 武内 健治 TEL 03-3989-5972  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	279,951	13.3	33,538	13.1	34,453	18.4	23,271	16.4
29年2月期第3四半期	247,027	8.9	29,651	14.5	29,111	12.1	19,996	16.7

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 24,512百万円 (94.9%) 29年2月期第3四半期 12,575百万円 (△27.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	886.14	883.98
29年2月期第3四半期	753.78	751.66

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年2月期第3四半期	236,081	168,459	69.5	6,260.19
29年2月期	214,705	157,018	71.3	5,791.78

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 164,194百万円 29年2月期 153,029百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	137.00	—	156.00	293.00
30年2月期	—	162.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	162.00	324.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	377,800	13.4	42,600	11.3	42,800	10.9	28,800	11.5	1,098.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 - （社名 -）、除外 - 社（社名 -）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有  
詳細は、【添付資料】P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	28,078,000株	29年2月期	28,078,000株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	1,849,666株	29年2月期	1,656,122株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	26,262,009株	29年2月期3Q	26,527,712株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、【添付資料】P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	10
販売実績 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、2017年7-9月期の実質GDP成長率が前期比プラス0.6%（年率換算2.5%）となり、7四半期連続のプラス成長となりました。個人消費は4～6月期の大幅増の反動に加え、夏場の天候不順によるサービス消費の減少から、7四半期ぶりのマイナスとなったものの、外需の大幅なプラスもあり、緩やかな景気拡大基調は維持されております。

また世界経済は、米国の2017年7-9月期の実質GDP成長率が前期比年率プラス3.3%と前期に続き高い水準を維持いたしました。ユーロ圏においても2017年7-9月期の実質GDP成長率は前期比プラス0.6%と前期（プラス0.7%）並みの高い伸びを維持しています。一方、中国においては、個人消費が堅調を維持し景気を下支えしているものの、過剰生産能力の調整に加え、環境規制の強化が生産・投資への下押し圧力となっており、減速感がやや強まりました。この結果2017年7-9月期の実質GDP成長率は前期比プラス6.8%となり、前期（プラス6.9%）から小幅に低下いたしました。中国以外のアジア諸国については、個人消費を中心に総じて堅調な内需に加え、好調な輸出が成長ペースを押し上げ、2017年7-9月期の実質成長率は、輸出依存度の高いタイ、マレーシアなどで成長ペースの加速が続いております。豪州でも、資源価格の持ち直しを背景とした企業部門の回復などにより緩やかな景気拡大が続いております。

このような状況の中、当社グループは“「感じ良い暮らし」を実現する企業”として、『ムダをなくす取組み（廃棄物削減）』『天然資源の保全』『安心・安全への配慮』『絆を大切にする活動』『温暖化への配慮』といったテーマを軸に、より良い商品の開発、店舗数の拡大に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、次のとおりであります。

営業収益	2,799億51百万円	（前年同期比 13.3%増）
売上高	2,793億67百万円	（前年同期比 13.3%増）
営業利益	335億38百万円	（前年同期比 13.1%増）
経常利益	344億53百万円	（前年同期比 18.4%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	232億71百万円	（前年同期比 16.4%増）

セグメント毎の業績は、次のとおりであります。なお、文中の店舗数は、無印良品、MUJIcom、MUJI to Go、Cafe MUJI、Cafe&Meal MUJI、IDEE店舗の合計を表記しております。

① 国内事業

国内事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は1,795億12百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は238億93百万円（同27.9%増）となりました。

同連結会計期間末の国内店舗数は、459店舗（前期末差7店舗増）となりました。

衣服・雑貨では「ウールシルク」や「ヤクウール」シリーズのニットが好調に推移いたしました。また、「脇に縫い目のない」シリーズのパジャマも好調を持続しています。生活雑貨ではスキンケア及びアロマ関連商材が継続的に伸長いたしております。また、「脚付マットレス」や「体にフィットするソファ」などの定番家具が好調に推移いたしました。食品では「チョコがけいちご」シリーズが売上を牽引いたしました。

② 東アジア事業

東アジア事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は763億72百万円（同20.8%増）、セグメント利益は104億53百万円（同9.9%減）となりました。

同連結会計期間末の店舗数は、320店舗（前期末差28店舗増）となりました。

主に中国において新規出店に加えて既存店を改装したこと、また価格見直しを行った生活雑貨を中心に販売が伸長したことにより増収となりました。またセグメント利益については、円高の影響により第2四半期連結累計期間までは前年同期に対して減益でしたが、当第3四半期連結会計期間においては増益に転じました。

③ 欧米事業

欧米事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は144億70百万円(同19.2%増)、セグメント損失は12億49百万円(前年同期は11億47百万円の損失)となりました。

同連結会計期間末の店舗数は、71店舗(前期末差2店舗増)となりました。

欧州において実施している倉庫移転による一時的なコスト増が落ち着いたことにより、物流費も低減し回復基調が持続しています。一方、北米においては新規出店により一時的なコストが嵩み、販管費が増加いたしました。

④ 西南アジア・オセアニア事業

西南アジア・オセアニア事業の当第3四半期連結累計期間の営業収益は95億94百万円(同33.8%増)、セグメント損失は71百万円(前年同期は1億4百万の利益)となりました。

同連結会計期間末の店舗数は、65店舗(前期末差8店舗増)となりました。

全地域において全社増収となりましたがシンガポール旗艦店の出店コストが嵩み、販管費が増加いたしました。タイではマーケットの消費マインドの低下がありましたが、回復基調が見えてまいりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの総資産は、2,360億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ213億75百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加30億88百万円、受取手形及び売掛金の増加38億96百万円、商品の増加32億5百万円、未収入金の増加35億82百万円、直営店の出店及び改装による有形固定資産の増加21億83百万円及び投資有価証券の増加13億81百万円によるものです。

負債は676億21百万円となり、99億34百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加10億37百万円、短期借入金の増加13億75百万円、未払費用の増加11億48百万円、長期借入金の増加18億28百万円及び繰延税金負債の増加11億24百万円によるものです。

純資産は1,684億59百万円となり、114億40百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加148億82百万円及び自己株式の増加47億94百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の71.3%から69.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月4日付「平成30年2月期 第2四半期決算短信」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,555	41,643
受取手形及び売掛金	7,929	11,825
商品	72,527	75,733
仕掛品	91	292
貯蔵品	52	83
繰延税金資産	1,376	2,182
未収入金	8,807	12,390
その他	2,144	3,663
貸倒引当金	△49	△43
流動資産合計	131,435	147,771
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	45,477	48,958
減価償却累計額	△18,878	△21,161
建物及び構築物 (純額)	26,598	27,796
機械装置及び運搬具	3,805	4,300
減価償却累計額	△1,639	△1,852
機械装置及び運搬具 (純額)	2,165	2,448
工具、器具及び備品	17,877	19,847
減価償却累計額	△10,511	△12,049
工具、器具及び備品 (純額)	7,365	7,797
土地	1,931	1,907
リース資産	44	16
減価償却累計額	△43	△15
リース資産 (純額)	1	0
建設仮勘定	550	845
有形固定資産合計	38,613	40,796
無形固定資産		
のれん	5,907	5,438
その他	7,620	8,621
無形固定資産合計	13,528	14,059
投資その他の資産		
投資有価証券	10,917	12,298
繰延税金資産	448	484
敷金及び保証金	16,983	17,653
その他	2,916	3,150
貸倒引当金	△137	△132
投資その他の資産合計	31,128	33,453
固定資産合計	83,270	88,309
資産合計	214,705	236,081

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	19,096	20,133
短期借入金	3,000	4,375
1年内返済予定の長期借入金	7,887	7,500
未払金	5,987	6,419
未払費用	4,486	5,635
未払法人税等	5,711	5,913
賞与引当金	1,132	767
役員賞与引当金	71	60
返品調整引当金	33	—
ポイント引当金	73	73
その他	3,219	5,017
流動負債合計	50,699	55,898
固定負債		
長期借入金	—	1,828
繰延税金負債	4,782	5,907
役員退職慰労引当金	25	32
その他	2,179	3,955
固定負債合計	6,987	11,723
負債合計	57,686	67,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	10,785	10,785
利益剰余金	140,652	155,534
自己株式	△10,681	△15,475
株主資本合計	147,522	157,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,963	4,787
繰延ヘッジ損益	—	△359
為替換算調整勘定	1,543	2,155
その他の包括利益累計額合計	5,507	6,583
新株予約権	344	405
非支配株主持分	3,645	3,859
純資産合計	157,018	168,459
負債純資産合計	214,705	236,081

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	246,500	279,367
売上原価	123,879	138,780
売上総利益	122,620	140,586
営業収入	527	583
営業総利益	123,148	141,170
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,762	4,190
配送及び運搬費	10,021	11,398
従業員給料及び賞与	26,981	30,776
役員賞与引当金繰入額	58	60
借地借家料	23,866	26,872
減価償却費	5,509	6,365
ポイント引当金繰入額	△7	0
その他	23,304	27,967
販売費及び一般管理費合計	93,496	107,632
営業利益	29,651	33,538
営業外収益		
受取利息	148	276
受取配当金	265	175
為替差益	—	187
貸倒引当金戻入額	4	11
持分法による投資利益	—	2
その他	335	345
営業外収益合計	753	1,000
営業外費用		
支払利息	27	29
支払手数料	6	1
為替差損	1,222	—
その他	36	54
営業外費用合計	1,294	85
経常利益	29,111	34,453
特別利益		
投資有価証券売却益	668	—
固定資産売却益	0	16
特別利益合計	669	16
特別損失		
固定資産売却損	1	16
固定資産除却損	145	143
解約違約金	72	35
特別損失合計	218	195
税金等調整前四半期純利益	29,561	34,273
法人税等	9,670	10,952
四半期純利益	19,890	23,321
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△105	49
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,996	23,271



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	19,890	23,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,867	824
繰延ヘッジ損益	—	△359
為替換算調整勘定	△9,182	726
持分法適用会社に対する持分相当額	—	0
その他の包括利益合計	△7,315	1,191
四半期包括利益	12,575	24,512
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,327	24,348
非支配株主に係る四半期包括利益	△751	163

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年4月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果自己株式は、当第3四半期連結累計期間に4,794百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において15,475百万円となりました。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、一部の連結子会社において、主として当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年3月1日至平成28年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	164,496	63,217	12,140	7,172	247,026	0	-	247,027
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	157	-	-	-	157	14,001	△14,158	-
計	164,653	63,217	12,140	7,172	247,183	14,002	△14,158	247,027
セグメント利益 又は損失(△)	18,677	11,595	△1,147	104	29,229	446	△23	29,651

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△23百万円にはセグメント間取引消去17百万円、棚卸資産の未実現利益消去△41百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	欧米事業	西南 アジア・ オセアニア 事業	計			
営業収益								
(1)外部顧客への 営業収益	179,512	76,372	14,470	9,594	279,950	1	-	279,951
(2)セグメント 間の内部営業収 益又は振替高	95	-	-	-	95	13,723	△13,819	-
計	179,608	76,372	14,470	9,594	280,045	13,724	△13,819	279,951
セグメント利益 又は損失(△)	23,893	10,453	△1,249	△71	33,025	414	98	33,538

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益又は損失の調整額98百万円にはセグメント間取引消去△0百万円、棚卸資産の未実現利益消去98百万円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績（営業収益）をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称		営業収益(百万円)	前年同四半期比 (%)
国内事業		179,512	109.1
東アジア事業	中国	46,771	121.0
	台湾	11,163	119.2
	香港	10,911	108.4
	韓国	7,525	146.7
	小計	76,372	120.8
欧米事業	アメリカ合衆国	4,770	122.6
	イギリス	2,648	108.4
	フランス	1,961	107.6
	ドイツ	1,411	111.0
	カナダ	1,374	207.0
	イタリア	1,239	109.1
	スペイン	672	120.4
	ポルトガル	193	143.9
	その他	197	91.9
	小計	14,470	119.2
西南アジア・オセアニア事業	シンガポール	3,470	126.7
	タイ	2,000	127.6
	オーストラリア	1,658	137.3
	マレーシア	1,100	144.2
	インド	303	497.8
	その他	1,060	127.3
	小計	9,594	133.8
計		279,950	113.3
その他(注)1		1	103.0
合計		279,951	113.3

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。

3. 営業収益の商品別の構成は次のとおりであります。

商品別	営業収益(百万円)	前年同四半期比(%)
衣服・雑貨	103,611	115.3
生活雑貨	149,070	112.7
食品	17,640	109.0
その他	9,629	109.9
合計	279,951	113.3

(注) 上記の金額には、消費税及び地方消費税は含まれておりません。